

市政の動き

6月定例会報告
市長総括説明から

6月3日、令和4年度第3回豊岡市議会定例会が開会しました。

開会にあたり市長が総括説明を行い、新型コロナウイルス関連、当面する市政の諸課題および提出議案などについて説明しました。その中から主な内容をお知らせします。

なお、市長総括説明の全文については、市ホームページをご覧ください。

新型コロナウイルス関連
■ワクチン接種

60歳以上の方および18歳以上60歳未満で基礎疾患を有する方などを対象として、4回目の追加接種を行う方針が国から示されたため、当該接種を7月2日から開始するべく、準備を進めています。

なお、4回目の追加接種を実施するに当たり、3回目の追加接種については、7月以降、規模を大幅に縮小する予定

です。ただし、1・2回目接種や3回目の追加接種がまだの方もありますので、4回目の追加接種の状況を見ながら接種枠を設定し、対応したいと考えています。

■住民税非課税世帯等への臨時特別給付金の支給

昨年度から、令和3年度分の住民税均等割が非課税である世帯等に対し、給付金の支給を実施しているところですが、国の支援措置の強化により、令和4年度分の住民税均等割が新たに非課税となった世帯等に対しても、給付を行うこととなりました。財源については、令和3年度分の国庫補助金の繰越分を充てます。

■安全に安心して暮らせるまち

0〜3歳児の医療費無料化
子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、0歳から3歳児の保険診療にかかる窓口支払いを7月1日診療分から世帯の所得に関係なく無料とします。

現在、6月下旬の受給者証交付に向け、準備を進めています。現時点で所得要件等に

より受給者証をお持ちでない方については、新たに申請が必要となるため、市広報、市ホームページ、防災行政無線等で市民の皆さんに広くお知らせし、該当者全員が恩恵を受けられるよう努めています。

■人と自然が共生するまち

■地球温暖化防止対策

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、地球温暖化対策実行計画の区域施策編を早急に改定したいと考えており、来年度から予定していた改定作業に今年度から着手します。30年度における市内の温室効果ガス排出量削減目標の設定や脱炭素化に向けた施策について啓発、実践することで、市民、事業者、市役所の脱炭素化を進めたいと考えます。

■持続可能な「力」を高めるまち

■豊岡演劇祭

「豊岡演劇祭2022」は、9月15日から25日までを会期として開催されることが発表されており、現在、開催に向けた準備が進められています。今年度、豊岡演劇祭実行委員

会には、豊岡商工会議所、豊岡市商工会が新たに加わり、計8団体で構成されることとなりました。今後とも、この演劇祭に関わっていただける皆さんの輪が広がればと考えています。

■玄武洞公園のリニューアルオープン

現在、公園整備工事を進めており、鑑賞エリア工事が7月下旬に完了する見込みとなりましたので8月1日から供用および有料化を開始します。

なお、県道沿いのエントランス部分を含む全体工事の竣工は8月下旬となる見込みです。9月1日に改めて完成記念式典を開催するとともに、その後、市内外の方々に玄武洞を楽しんでいただくための夜間ライトアップ等、記念行事を実施したいと考えています。

■観光DX基盤の整備

今年度は、観光客が地域で利用するクーポン券の配信など、観光客に滞在を楽しんでもらう機能を備えたアプリケーションを開発することとし

ています。さらに、DX基盤データを顧客管理や販売促進に活用するため、観光DX基盤への顧客管理機能の付加等に取り組みたいと考えています。

■市内周遊促進事業

「デジタルスタンプラリー」

本市の観光需要は、まだまだコロナ禍前の水準に回復していないのが現状です。このような中、国内誘客のさらなる強化に向けて、市と豊岡ツーリズム協議会で「どう転がっても面白いっ六面体豊岡」という合言葉とロゴを作成しました。この取組みのキックオフキャンペーンとして、市内各地の自然、文化、食などの観光資源を周遊するデジタルスタンプラリーを実施しています。新型コロナウイルス感染症の拡大状況も注視しつつ、引き続きPRに努めます。

■海外戦略

国は、外国人観光客の受入れ再開に向けた実証事業を5月下旬から実施しており、6月10日から、およそ2年ぶりに観光による入国を再開しま

す。本市においては、訪日観光の再開に当たり、特に米国・豪州・台湾に向けた「訪日再開ウエルカムキャンペーン」を早急に実施したいと考えています。

■学校給食米飯をコウノトリ育む農法無農薬米に転換

現在、学校給食ではコウノトリ育む農法の減農薬米を毎食使用しています。近年、コウノトリ育む農法に取り組む生産者が減少し、栽培面積が伸び悩んでいます。地域のブランド米であり、安全安心なコウノトリ育む農法の無農薬米を学校給食に使用することで、農家の所得向上や生産者の増加につながるものと考えています。国の「有機農業産地づくり推進事業」にかかる交付金を活用し、1カ月間、試行的に取り組みたいと考えています。

■コウノトリ但馬空港のあり方懇話会

さまざまな視点で議論、検討が行われてきた本懇話会ですが、新型コロナウイルス感染症の社会経済活動への影響

が国内外で長期化する中、但馬空港のあり方の検討に重要な「航空需要予測値」の算定が困難な状況となっています。そこで県は、今後の環境改善と継続検討に備えるため、これまでの検討内容をいったん総括しました。短期的にはさらなる利活用の促進を図るこ

■JR西日本ローカル線の維持・利用促進

と、中期的には滑走路端の安全区域を伸ばして国際基準への対応を図ること、中長期的には滑走路の延長について検討することなどが中間報告としてとりまとめられ、5月30日に示されました。

■JR西日本ローカル線の維持・利用促進

今後の進め方については、コロナ禍が収束した後、航空需要の回復や航空会社の経営状況の改善、また航空需要予測を見て、判断がなされると伺っています。

■JR西日本ローカル線の維持・利用促進

2月、JR西日本は、輸送密度が1日当たり2千人未満で大量輸送機関としての特性を發揮できていないとする線区を公表しました。続く4月には、この線区ごとの経営状況を公表しました。今後、J

R西日本に丁寧な対話を求めていくとともに、県が設置する「JRローカル線維持・利用促進検討協議会(仮称)」および対象路線ごとに組織される「各路線ワーキングチーム」において、沿線自治体と足並みをそろえながら議論を行い、路線の維持存続に向け、関係機関に働きかけたいと考えています。

■子育て支援総合拠点等整備

今年度は、アイティ7階部分において、こども支援センターの移転を柱とした施設整備を行います。6月下旬から工事に着手し、10月頃の開設を目指しています。

■ジェンダーギャップ解消の推進

21年3月に策定した「ジェンダーギャップ解消戦略」に基づき、引き続き取り組みを進めていきます。今年度は、新たに女性の人材育成プログラム「豊岡みらいチャレンジ塾2022」や「男性の座談会」の開催、ジェンダー平等を題

材にした絵本の幼稚園・認定こども園・保育園への配布などに取り組みます。

また、アイティ4階に開設したワックトヨタカ内の「みらい応援Room」などで、子育て中の女性等を対象としたキャリア相談・就職相談やデジタルマーケティングセミナー等の各種セミナーを開催し、就労支援を行います。

■デジタルを活用した市役所手続き等の利便性向上

市役所の手続きの多くは、市民や事業者の皆さんが平日昼間に窓口へ足を運んで書類に書き添えること、また、複数の窓口を回って同じような内容を記入することが前提です。まず、この状況の改善に取り組みます。

具体的には、スマートフォン等を活用して、子育て関連等のいくつかの手続きについて、いつでもどこでも手続きを完結できるサービスや、婚姻や出生等の場面において自分に必要な手続きが分かるサービスを導入します。

また、複数の庁舎間を移動しなくてもオンライン等で相

談ができるようにするための機器・環境を整備します。これらの機器・環境は、庁舎内で行われる会議等でも利用できるため、紙や庁舎間移動の削減による業務の効率化にもつながります。

■水道料金の改定

給水条例の改正案につきましては、2月3日の臨時会においていったん撤回させていただいた後、再検討結果等を5月13日の全員協議会で説明したところです。その後、水道料金改定の必要性と市民生活への影響を考慮して再度検討した結果、平均改定率は昨年12月定例会での提案と同じく17.3%とし、料金改定期を令和5年4月1日とすることが、現状では最善であると判断し、今議会に条例改正案を提出しています。

「人口減少が続く中、若い世代、子孫に負担を先送りすることは極力避けたい」との言葉も、一部の市民の方からいただいています。健全な水道施設を次世代へ引き継ぐことができるよう、何卒ご理解をお願いします。